



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL <https://www.rasaco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 桜木 和陽 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,545	△9.7	950	△4.0	1,017	△5.5	670	△13.5
2022年3月期第2四半期	15,001	30.9	989	56.3	1,076	58.7	775	71.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 697百万円(△7.6%) 2022年3月期第2四半期 754百万円(40.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	57.76	—
2022年3月期第2四半期	66.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,614	19,388	63.3
2022年3月期	31,387	19,156	61.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 19,388百万円 2022年3月期 19,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	21.00	—	29.00	50.00
2023年3月期	—	29.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,600	△8.7	2,300	△9.8	2,500	△11.1	1,750	△13.1	150.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	11,983,838株	2022年3月期	11,983,838株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	478,477株	2022年3月期	356,976株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	11,603,490株	2022年3月期2Q	11,626,862株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
3. 参考情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策の効果もあり、企業収益は持直しの傾向がみられております。しかしながら、世界的な金融引締め等を背景とした景気の下振れリスクやウクライナ情勢の長期化の影響は依然として残り続け、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Resilience” Rasa 2024 ～再生から飛躍へ～」を策定し、グループ・ガバナンスの確立を最重要課題と位置づけ、グループの連携をさらに強固なものとしつつ、更なる飛躍を目指し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、主にプラント・設備工事関連が減収となったことを受けて135億45百万円となり、前年同四半期と比べ14億56百万円(△9.7%)の減収となりました。

利益につきましては、売上の減収を受けて、営業利益は9億50百万円となり、前年同四半期と比べ39百万円(△4.0%)の減益となりました。また、経常利益は10億17百万円となり、前年同四半期と比べ59百万円(△5.5%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は6億70百万円となり、前年同四半期と比べ1億4百万円(△13.5%)の減益となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、当社取り扱い原料の相場価格上昇に伴い販売価格が上昇したことから、関連部門の売上高は39億74百万円となり、前年同四半期と比べ3億75百万円(10.4%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は3億17百万円となり、前年同四半期と比べ1億35百万円(74.5%)の増益となりました。

産機・建機関連では、建機関連の海外シールド販売は前年度に比べ低調でしたが、産機関連の主に民間及びBCP用ポンプが堅調であったことから、関連部門の売上高は36億31百万円となり、前年同四半期と比べ76百万円(2.2%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は2億11百万円となり、前年同四半期と比べ1億14百万円(117.6%)の増益となりました。

環境設備関連では、水砕スラグ製造設備機器の販売が低調となりましたが、大口案件となる汚泥処理設備改造工事が寄与したことから、関連部門の売上高は6億82百万円となり、前年同四半期と比べ29百万円(4.5%)の増収となりました。一方、官庁向けポンプ整備に於いてコストの上昇を抑えられなかったことから、セグメント利益は40百万円となり、前年同四半期と比べ15百万円(△28.1%)の減益となりました。

プラント・設備工事関連では、前期と比べ大型工事の取引高が減少したことにより、関連部門の売上高は17億68百万円となり、前年同四半期と比べ21億80百万円(△55.2%)の減収となりました。また、売上減収からセグメント利益は2億5百万円となり、前年同四半期と比べ2億88百万円(△58.4%)の減益となりました。

化成品関連では、新型コロナウイルス感染症に伴う海外ロックダウンや半導体不足の影響により自動車、潤滑油分野での受注減少となりましたが、電線、建材分野での受注が堅調に推移したことから、関連部門の売上高は33億64百万円となり、前年同四半期と比べ2億36百万円(7.5%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は71百万円となり、前年同四半期と比べ0百万円(1.1%)の増益となりました。

不動産賃貸関連では、前年と異なり賃貸ビルが満室を維持できたことから、関連部門の売上高は1億85百万円となり、前年同四半期と比べ6百万円(3.9%)の増収となりました。また、賃貸収入が増加したことに加え、管理業務委託費、修繕費などの減少もあったことから、セグメント利益は1億2百万円となり、前年同四半期と比べ13百万円(14.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は306億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億72百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は178億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億48百万円の減少となりました。

これは主に、商品及び製品で3億66百万円、電子記録債権で1億84百万円の増加があった一方で、受取手形、売掛金及び契約資産で15億9百万円の減少があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は127億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円の増加となりました。

これは主に、建物及び構築物(純額)で54百万円の減少があった一方で、保険積立金で1億34百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

流動負債は79億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億86百万円の減少となりました。

これは主に、契約負債で2億8百万円の増加があった一方で、支払手形及び買掛金で4億85百万円、工事未払金で3億78百万円の減少があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は32億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億16百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で3億47百万円の減少があったことによるものです。

(純資産)

純資産は193億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円の増加となりました。

これは主に、剰余金の配当で3億47百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益で6億70百万円を計上したことにより増加したものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は45億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億54百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は8億90百万円(前年同四半期は5億21百万円の収入)となりました。

これは主に、仕入債務の減少額11億80百万円による資金の減少があった一方で、税金等調整前四半期純利益10億17百万円、売上債権及び契約資産の減少額13億25百万円による資金の増加があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億81百万円(前年同四半期は45百万円の収入)となりました。

これは主に、保険積立金の積立による支出2億18百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億53百万円(前年同四半期は5億20百万円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出2億44百万円、配当金の支払額3億47百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年9月27日付の「業績予想および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,445	4,600
受取手形、売掛金及び契約資産	9,518	8,008
電子記録債権	1,767	1,951
商品及び製品	2,633	3,000
未成工事支出金	19	111
原材料及び貯蔵品	10	8
その他	308	172
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	18,702	17,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,444	4,444
減価償却累計額	△2,738	△2,792
建物及び構築物（純額）	1,705	1,651
機械装置及び運搬具	460	460
減価償却累計額	△413	△423
機械装置及び運搬具（純額）	47	36
土地	6,000	6,000
建設仮勘定	-	17
その他	1,742	1,680
減価償却累計額	△1,660	△1,616
その他（純額）	82	64
有形固定資産合計	7,835	7,770
無形固定資産		
ソフトウェア	177	160
ソフトウェア仮勘定	55	57
その他	0	0
無形固定資産合計	232	218
投資その他の資産		
投資有価証券	3,308	3,364
退職給付に係る資産	42	36
繰延税金資産	117	96
保険積立金	982	1,116
その他	174	163
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	4,616	4,771
固定資産合計	12,684	12,760
資産合計	31,387	30,614

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,169	2,683
電子記録債務	1,471	1,155
工事未払金	544	165
短期借入金	1,690	1,850
1年内返済予定の長期借入金	440	543
未払法人税等	420	344
契約負債	123	331
賞与引当金	310	342
工事損失引当金	3	1
その他	450	516
流動負債合計	8,622	7,935
固定負債		
長期借入金	2,904	2,556
繰延税金負債	355	345
退職給付に係る負債	24	26
役員株式給付引当金	95	139
その他	227	221
固定負債合計	3,607	3,290
負債合計	12,230	11,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,837	1,837
利益剰余金	15,269	15,592
自己株式	△183	△301
株主資本合計	19,000	19,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	172
繰延ヘッジ損益	△10	11
その他の包括利益累計額合計	156	184
純資産合計	19,156	19,388
負債純資産合計	31,387	30,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	15,001	13,545
売上原価	11,991	10,524
売上総利益	3,009	3,021
販売費及び一般管理費	2,020	2,071
営業利益	989	950
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	19
保険解約益	47	-
持分法による投資利益	40	60
その他	7	12
営業外収益合計	111	92
営業外費用		
支払利息	13	13
保険解約損	8	6
その他	2	5
営業外費用合計	24	25
経常利益	1,076	1,017
特別利益		
投資有価証券売却益	70	-
特別利益合計	70	-
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	1,146	1,017
法人税等	371	346
四半期純利益	775	670
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	775	670

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	775	670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	5
繰延ヘッジ損益	△7	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△20	27
四半期包括利益	754	697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	754	697
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,146	1,017
減価償却費	121	117
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22	32
特別調査費用引当金の増減額 (△は減少)	△221	-
受取利息及び受取配当金	△15	△19
支払利息及び社債利息	13	13
持分法による投資損益 (△は益)	△40	△60
固定資産除売却損益 (△は益)	-	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△70	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	955	1,325
棚卸資産の増減額 (△は増加)	573	△458
未収入金の増減額 (△は増加)	2	△3
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△78	29
仕入債務の増減額 (△は減少)	△41	△1,180
未払金の増減額 (△は減少)	26	1
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,165	208
その他	△155	197
小計	1,024	1,222
利息及び配当金の受取額	26	29
利息の支払額	△12	△12
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△517	△349
営業活動によるキャッシュ・フロー	521	890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31	△22
無形固定資産の取得による支出	△16	△15
投資有価証券の売却による収入	118	-
保険積立金の積立による支出	△191	△218
保険積立金の払戻による収入	166	78
その他	△1	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	45	△181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	160
長期借入金の返済による支出	△238	△244
自己株式の取得による支出	-	△118
配当金の支払額	△227	△347
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520	△553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45	154
現金及び現金同等物の期首残高	4,675	4,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,721	4,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	3,170	2,888	652	3,949	2,969	—	13,630
アジア	409	492	—	—	132	—	1,033
その他	19	173	—	—	26	—	219
顧客との契約から 生じる収益	3,599	3,554	652	3,949	3,128	—	14,884
その他の収益	—	—	—	—	—	178	178
外部顧客への売上高	3,599	3,554	652	3,948	3,128	117	15,001
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	0	—	60	61
計	3,599	3,554	652	3,949	3,128	178	15,062
セグメント利益	181	97	56	493	71	89	989

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	989
その他	—
四半期連結損益計算書の営業利益	989

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	プラント ・設備 工事関連	化成品 関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	3,394	2,877	682	1,768	3,228	—	11,951
アジア	550	483	—	—	119	—	1,153
その他	30	270	—	—	16	—	316
顧客との契約から 生じる収益	3,974	3,631	682	1,768	3,364	—	13,421
その他の収益	—	—	—	—	—	124	124
外部顧客への売上高	3,974	3,631	682	1,768	3,364	124	13,545
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	60	60
計	3,974	3,631	682	1,768	3,364	185	13,606
セグメント利益	317	211	40	205	71	102	948

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	948
セグメント間取引消去	1
その他	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	950

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2023年3月期第2四半期の個別業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,288	6.2	569	113.9	781	130.4	557	99.4
2022年3月期第2四半期	7,807	13.4	266	△3.0	339	8.1	279	32.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	47.66	—
2022年3月期第2四半期	23.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,642	14,420	73.4
2022年3月期	19,917	14,283	71.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 14,420百万円 2022年3月期 14,283百万円